

第41回近畿高総文祭

努力が実る9日間



mini

うみな通信

近畿総文新聞



▲整列する各府県代表者たち



▶日本音楽部門のオープニング演奏

11月13日から21日にかけて行われる第41回近畿高等学校総合文化祭(以下近畿総文)の総合開会式が、14日に滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで開催された。今年の近畿総文のテーマは「きらめく湖からつながる絆 文化の息吹」だ。近畿各府県から約3200名が参加。各部活動がこれまでの努力の成果を発揮する。



▶生徒実行委員長の平井開陸君

総合開会式は日本音楽部門の『きらめく湖から』の演奏と共に華々しく幕を開けた。副生徒実行委員長の中川朝陽君(膳所高校2年)と種子田真湖さん(立命館守山高校2年)による開会宣言が行われた。司会を務めるのは堀居愛友香さん(米原高校2年)、藤田紗弥子さん(膳所高校1年)、宮嶋ひなのさん(膳所高校1年)。三日月大造滋賀県知事と福永忠克滋賀県教育委員長も来場し、生徒に歓迎の言葉を述べた。その後、各府県の代表者がプラカードとともに入場し、地元の紹介を行った。デモンストレーション

(立命館守山高校2年)は近畿総文について「新型コロナウイルス感染症禍で人とのつながりが少なくなった。新型コロナウイルス克服の象徴となるものになりたい。10年に1度の滋賀での近畿総文に関われることは奇跡だ。絶対成功させるぞ」と意気込んだ。副委員長

ンでは湖國浮世絵八景と題し、各部門と生徒実行委員が作成した動画の発表や熱のこもったパフォーマンスを披露した。また新しい琵琶湖の歌『びわ湖トワ』を合唱し、総合開会式は幕を閉じた。

生徒実行委員長の平井開陸君

総合開会式 出演校一覧

(県外参加校)
和歌山県立有田中央／三重県立神戸／福井県立羽水／鳥取県立米子西／徳島県立城北／大阪府立港南造形／京都府立鴨沂／兵庫県立須磨東／奈良県立奈良北
(県内参加校)
石山／伊吹／大津／草津東／甲西／膳所／長浜北星／八幡／彦根翔西館／彦根東／日野／水口東／近江兄弟社／比叡山／M・H・O美学院／立命館守山

総合開会式への意気込み

彦根東高校 箏曲部

総合開会式で『きらめく湖から』を伊吹高校、近江兄弟社高校、大津高校、長浜北星高校、彦根翔西館高校とともに計6校、26名で演奏する彦根東高校箏曲部。部長の山中美緒さんは総合開会式への意気込みを「こんなに大人数で演奏したことがないので、大人数だからこそできる壮大で堂々とした演奏をしたい」と微笑み「これまで月に1回は他校との合同練習があった。講師が来て直接指導をしてもらった」と話した。

草津東高校 軽音楽部



▲リモートでの演奏練習に励む軽音楽部

総合開会式で神戸高校の吹奏楽部、阪南大学高校のシンセサイザー演奏とともにリモートで『糸』の演奏を行う草津東高校軽音楽部のみなさんは、演奏に込めた思いを「思うように自分たちのしたいことができない中で、多くの人が支え合って舞台に立てていることに感謝の気持ちを込めた。このような楽しい舞台をみんなで作り上げることができ、とてもうれしい。文化の輪を広げたい」と話す。「離れた場所からでも音楽を通してつながりあえることを体現した舞台を是非楽しんでほしい」と語った。